

ちくたく

岡輝中学校区よ！ これからも『前へ』



岡輝中学校校長 片山安基夫

私が、岡輝中学校・岡輝中学校区に赴任してきて6年目が終わろうとしています。また、私の教員生活も終わろうとしています。6年間、この学区の皆様にお世話になり、いろいろな場面で一緒に過ごさせていただきましたが、それもまた今年度で終わりだと考えると感慨深いものがあります。

この6年間、岡輝中学校には、多くの方が視察に来られました。教育委員会の方、校長先生を始めとした教職員の方、学校運営協議会の代表の方、市外・県外はもちろんのこと、外国からの視察もありました。

視察に来られた方々に対して、私が岡輝中学校の説明をするときに、まず最初に口にするのは、

「私がこれから説明するのは、岡輝中学校の説明ではなく、岡輝中学校区の説明です。岡輝中学校区には、『学区でつながれ、地域協働学校』『みんなでつながれ、共同学習』という2本の柱があります。」という言葉でした。

私は、地域・保護者・子どもたち・先生方がこの2本の柱を大切にされてきたことが、岡輝中学校区がすばらしい学区になる原動力であったと確信しています。だからこそ、これからもその思いを大切にしたい、これからも前を向き、よりすばらしい岡輝中学校区にしたいと思っています。

私は、平成22年度に赴任してきたときに、六校園研究集録巻頭文に次のように書いています。

「岡輝中学校区は、学区内の六校園（岡輝中学校・清輝小学校・岡南小学校・岡南幼稚園・清輝保育園・岡南保育園）が協力し、『地域協働学校』として、また、『共同学習』を柱とした『一貫教育』の推進地区として、前進している中学校区です。このどちらの言葉にも『協』という字が入っています。この字の『十』は『多い』という意味を持ち、『劦』は『力を合わせる』という意味を持っています。

- 中学校区の地域全体が【力を合わせる】！
 - 中学校区の生徒全員が【力を合わせる】！
 - 中学校区の保護者全員が【力を合わせる】！
 - 中学校区の教職員全員が【力を合わせる】！
 - 中学校区の地域と生徒と保護者と教職員が【力を合わせる】！
- ことができたとき、我が岡輝中学校区は、岡山市一、いや、岡山県一、いや、日本一の中学校区になると思います。これから、よろしくお願ひします。」

今、岡輝中学校区は、「日本一の中学校区」になる道を確実に進んでいます。自信を持って、「前へ」進んでいきましょう！

楽しい6年間でした！思い出多き6年間でした！本当にありがとうございました！

岡輝中学校校長 片山安基夫

学校園運営に参画してみませんか 文責 片山安基夫

募集

岡輝中学校区の学校園は、全国に先がけ、平成14年度～16年度に文部科学省から「コミュニティ・スクールに関する法案づくりのための実践研究」の指定を受けました。その後、「コミュニティ・スクールを全国に広めるための推進事業の指定（平成17・18・20年度）」、「岡山市地域協働学校1号（現在10年目）」の指定を受け、コミュニティ・スクールの推進に向けて中心的役割を果たしてきました。

現在、岡輝中学校区の「コミュニティ・スクール」「シニアスクール」「協同学習」などの活動は、県内はもとより全国的にも注目を集め、多くの視察を受けるようになっています。こうした中、取り組みの継続のため、いろいろなご意見やご提言をしていただける地域からの人材が求められています。この度、平成28年度の組織作りのために、地域から学校運営に参画していただける方の公募を行います。



学校運営協議会主催行事『第10回つながれ岡輝』

応募資格

地域住民の皆様からの募集なので、岡輝中学校区に居住されておられる方ならどなたでも応募することができます。下記の応募要項により、ご応募ください。なお、岡南幼稚園、清輝小学校、岡南小学校、岡輝中学校からは、PTAより代表を1名選出していただきますが、地域住民として応募していただくこともできます。

応募要項

① 応募書類

ア) 氏名・年齢・生年月日・現住所・電話番号・職歴（過去の地域活動やPTA活動の経歴）などを記述したもの（様式不問）

イ) 作文「私の思い」（応募の動機を400字詰め原稿用紙1～2枚程度にまとめたもの）

② 提出先 〒700-0867 岡山市北区岡町12-17

岡輝中学校内「岡輝中学校区学校運営協議会」宛

③ 締め切り日 平成28年4月22日（金）

④ 問い合わせ先 岡輝中学校教頭 赤木 茂

TEL. (086) 224-0358

応募後の動き

応募された方は、岡輝中学校区学校運営協議会（以下、運営協議会という）の地域部会において協議の上、推薦されると運営協議会の委員として選出されます。選出された方は、運営協議会の地域部会に所属し、平成28年6月に開催される新委員による運営協議会から参加していただけます。

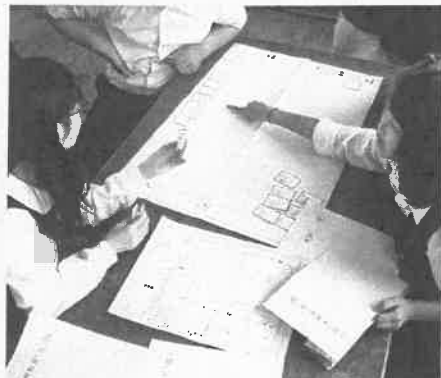
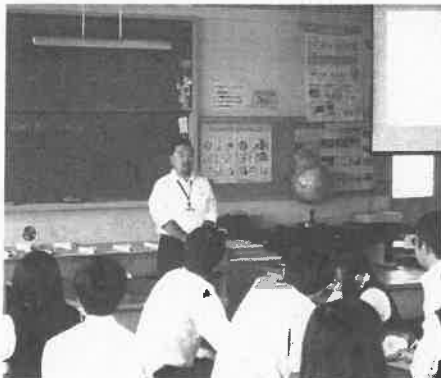
いのちをつなぐ

みどりの林檎

防災キャンプ in 岡輝

事前学習

当日に向けての事前学習として「防災」に関することをさまざまな角度から学びました。特に過去2年間「イメージアップ岡輝」でおこなった「HUG（避難所運営ゲーム）」を1～3年生までの全クラスで実施したことが、今年のみどりの林檎に向けての大きなチャレンジでした。文字通り避難所を運営することを想定したゲームなのですが、イメージアップ岡輝で取り組んだときとは違い、すべて中学生だけで運営するという点がポイントでした。すべての生徒が、災害時に考えなければならないことや、自分たちにできることは何かということを理解することができました。事前学習のおかげで、当日の防災体験学習も充実したものとなりました。



当日のようす

10月31日(土)、秋晴れの中、第16回目となる「みどりの林檎」が開催されました。今年は「防災」をテーマとして参加体験型プログラム『防災キャンプin岡輝』を実施しました。当日までに日本赤十字社、岡山北消防署、岡輝公民館、岡山大学医歯薬学研究所の指導を受けながら、生徒が主体となって様々な体験活動が行われ、災害が起きたとき、私たちが考えなければならないことは何か、心がけなければならない行動は何かということを知りました。

災害時に私たちが自分の命を守ることに以外に考えなければならないことは、防災基地の役割をもつ学校として「地域に貢献すること」であると想定し、当日は3年生にほとんどの活動を指揮してもらいました。中学生にはこの活動を通して、命の大切さを感じるとともに、地域社会に貢献できる大人に育ってほしいと願っています。



PTA会長あいさつ



AED(救命救急)



園児避難誘導



応急手当



車椅子介助



担架運び体験



応急処置



生の5作り



消火活動体験



非常食作り



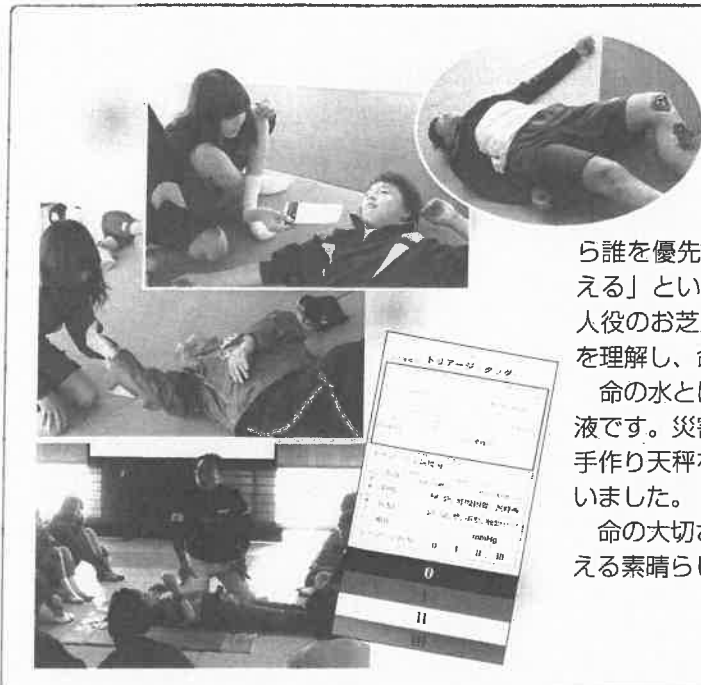
非常食試食



避難所作り



命の水作り



今年度は、命をつなぐ「トリアージ」と「命の水作り」を実践してもらいました。

トリアージとは、ももとはコーヒー豆の選別に使われていた言葉ですが、現代ではケガをした人を救命するための優先順位を決定する行為です。多数のけが人の中から誰を優先的に病院に運ぶのか、「命のふるい分けを考える」という究極の選択を真剣に取り組みました。けが人役のお芝居をしてくれた3年生も、トリアージを行った1・2年生も命の意味を理解し、命の尊さを理解してもらえたと思います。



命の水とは、人が生きる上で大切な糖分と塩分を補給するためのアルカリ補水液です。災害時には、これがあれば生きのびることが可能であることを理解し、手作り天秤を使って正確に砂糖と塩を測定して命の水を作って実際に飲んでもらいました。

命の大切さと、中学生にも人を助けられることができるということを実感してもらえる素晴らしい体験ができたのではないのでしょうか。

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科教授 薬学博士
(岡輝中PTA会長) 中熊 弘哲

生徒の感想

お 手本にならないといけなかった私たち3年生もあまり上手くできなくて少し焦ったけど、1、2年生の飲み込みが早くてやりやすかった。今日やった感じでは、実際にこのようなことが起きたとき、もっと焦って全然上手くできそうにないなと思ったけど、一人一人の負担が少なくなるから、子どもでもやりやすくていいのだろうと思った。

ト リアージを習った。医者ではなくてもトリアージを行なえることがわかった。自分が怪我人になりきって今日やってみたら、意外と判断が難しく大変だった。実際に災害が起きたときにトリアージを「やって」と言われると抵抗があるけど、トリアージのことを知ることができて、一応できるようになったのでよかったです。

命 の水は、普通に飲めばおいしくないのだろうけど、災害が起きたときなどは水分補給に良いことを知りました。作り方も思ったほど難しくなく天秤も簡単に作れたし、今日は1、2年生に教える側で説明しながらやったので、自分もしっかり理解し直すことができました。

命 の水は意外と簡単に作れることがわかったし、何かあったときに自分が分かっていれば人にも教えることができるし、誰かを助けることもできるのかな? と思った。災害にあったときは、おいしくないとか味に関係なく飲まないといけないうんだなと思うと、今おいしいものを食べているのは幸せだなと思った。

校 長先生がおっしゃっていたように、いちばん良いのは災害が起こらさず今日のことが無駄になることだと思います。でも、もし災害が起きたときには今日学んだことを実際の場面で生かせるようにしっかり覚えておこうと思いました。

非 常食を作ること(水と米を詰めるまで)は簡単で楽しかったけど、ゆでたり、熱湯から上げたりする作業は熱くて大変だった。今回のような何も被害がない平和なときでもすごく大変だったので、もしも本当に災害があったときにしたら、もっと大変なのかなと思うと、災害が起こらず今回のことが無駄にならないうちにいいと思いました。

初 めて災害時のことについて体験し、非常食を作るのは思ったより大変だったけど、その後の判断とか工夫とかするのがもっと難しいのだろうと思いました。今日は事前に用意されていたけど、本当は救急の人はいつ来てくれるのか分からない。でも、避難者はたくさん来る。物はないしパニックになってる中で、今日やったようなことが出来るかどうか心配だけど、とりあえず今日のことを覚えておかなければ。そして、日々協力してくれる方々に感謝することを大切にしていきたい。

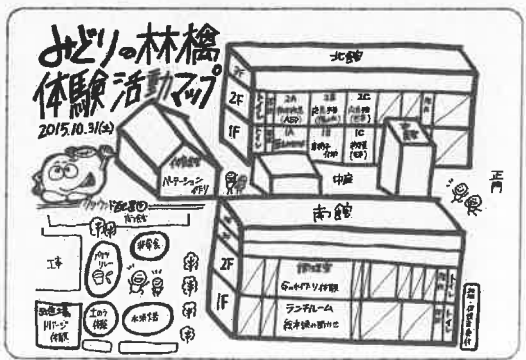
本 当に災害が起こったら、いろいろな人に教えて地域に貢献しないといけないんだなあと思い、責任感をもって頑張れました。1、2年生に説明するときには分かりやすく簡単に教える工夫をしました。毛布一枚に紐一本と身近なものがあればどこでも使えるので、今回やったことが無駄にならないようにずっと覚えておき、災害が起きたときには使えるようにしたいです。

メッセージ

「地域の防災力の向上を目指して」

岡輝公民館は、災害時には公共施設として一時避難所の役割を担っています。また、人づくり・地域づくりの支援の拠点である公民館は、生涯学習の場として「防災学習」(起震車体験や消火訓練、救命救急講習、非常食体験など)を実施しています。日頃から地域の消防団や町内会・諸団体のみなさんとともに、一人一人の災害に対する意識を高めたり、災害に対応できる能力を培ったりするための学習の場を作ることで地域全体の防災力の向上を目指しています。

岡輝公民館 主任 藤山 宙子



友だちと、地域の人と、先生と「いっしょに!!」公立学校園の27年度後期の取り組み

“働く”中学生～職場体験学習～ | 岡輝中学校



11月25～27日の3日間、2年生が学区内外の約40の事業所に分かれて職場体験学習を行いました。普段の学校生活では経験することのできない緊張感の中で真剣に、かつ楽しそうに取り組んでいました。生徒を受け入れていただいた事業所の方々も「中学生を受け入れることは我々にとっても刺激になる」と話して下さいました。将来、働くことを通して社会に貢献できる大人になってほしいと願っています。

清輝小学校のマスコットキャラクター決定!! | 清輝小学校

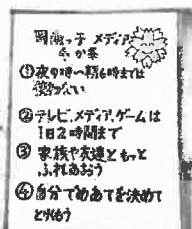
清輝小PTAでは、PTA活動、子どもたちの学校生活の活性化につながればと考え、今年度PTA事業として、清輝小学校独自のマスコットキャラクターを子どもたちから募集し、着ぐるみ制作を行いました。



子どもたちが考えて描いてくれたデザインは一つ一つとても素晴らしく、清輝小学校が大好きで、大切に思っていることが伝わってきました。選ばれたデザインは6年生の正司姫里さんの「しばっふー」と野村光成君の「しばはな140マン」。4年生の後藤健太君のたすきのアイデアも採用されました。

11月21日の音楽発表会でデビュー、12月のあいさつ運動から清輝小学校の正門前で子どもたちを迎えています。清輝小学校の新しい仲間です。仲良くしてくださいね。

岡南っ子メディア4か条 | 岡南小学校



岡南小学校では、メディア（テレビ、ゲーム、インターネット、スマートフォン）の利用時間を調べたり、みどりの林檎参観日でゲームやスマートフォンを巡る問題について話し合ったりしました。そして、運営委員会の子どもたちが、全校から意見を募集してとりまとめた「岡南っ子メディア4か条」を、全校朝会で寸劇を交えて提案しました。

- ①夜9時～朝6時までは使わない。
- ②テレビ、メディア、ゲームは1日2時間まで。
- ③家族や友達ともしっかりあおう。
- ④自分で決めて決めて取り組もう。

利用時間調べの結果

平日に何らかのメディア（テレビ・ゲーム・インターネット・メール）を利用している児童は、1時間以下が16%、1～2時間が34%で最も多く、2～3時間が16%、3～4時間が17%、4時間以上が17%以上（休日では4時間以上がなんと34%以上）という驚きの結果でした。

ご家庭でよく話をして、上手にメディアと付き合ってもらいたいと思います。

幼保合同でマラソンを頑張りました! | 岡南幼稚園

12月7日から幼保の子どもたちが一緒に、幼稚園の園庭で朝1番にマラソンを始めました。準備運動としてリズム遊びや体操をして体を温めたら、園庭を何周も走ります。初めのうちは「疲れた～」と言っていた子どもたち



も毎日取り組むことで、少しずつ心も体も強くなり「もっと走りたい!」という声も聞こえるようになりました。そこで、1月26日からは岡南小学校の校庭で行って来ました。園庭とは比べものにならないくらい広い広さに圧倒されていましたが、サッカーコート2周を自分のペースで完走することができるようになりました。

そして、2月24日にマラソン大会の日を迎えました。大会では、一人一人の子どもたちが今まで積み重ねてきた力を発揮し、真剣な表情で完走しました。大きな声で友達を応援する姿も印象的でした。大会終了時には小学校の先生から表彰状をいただき、とても満足そうでした。

給食試食会をひらきました | 清輝保育園



1月21日の参観日後に、給食の試食会を開きました。普段子どもたちが食べている給食を少しずつ食べてもらい、多くの保護者の方から「いつもこんなにおいしいの

を食べているんだね」と好評でした。また、園のアンケートにて朝食を食べているか調査し、朝食の大切さをクラスでも伝えていきました。



命のフェスタ(みどりの林檎) | 岡南保育園

1月20日の参観日に「JAF交通安全ドレミぐるーぶ」をお招きして「交通安全とチャイルドシートの話」と色々な楽器を使った演奏を聴かせていただきました。



命のフェスタが終わって子ども達から「チャイルドシートに座ったよ」保護者からは「生の演奏を聴く機会も少ないのでよい経験になった」など、たくさんの感想が寄せられました。

命の大切さについて感じたり、考えたり、楽しい時間になりました。

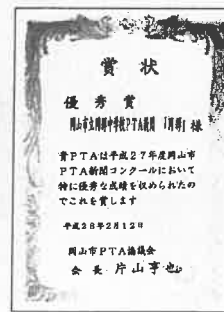
▶ PTA新聞コンクール優秀賞受賞! ……岡輝中

PTA会報「岡輝」第53号が、平成27年度岡山市PTA新聞コンクールにおいて優秀賞に選ばれました。

2月12日(金)、市役所にて表彰式があり、企画も良く学校活動の活発さが紙面に表れていると講評していただきました。

6年間お世話になった片山校長先生の退任、平成30年に新校舎へと移り変わる特別号として発行しました。部員一同アイデアを出し合い、1学期から準備を進めてただけに受賞はとても嬉しく思いました。懐かしい校舎の風景も載せていますので、OBの方々も是非一度ご覧下さい。

取材：岡輝中学校広報委員会 副委員長 入澤利枝



キラリ輝く！ がんばっているひとたち

岡輝中学校

◆岡山市中学校体育連盟 優秀選手

—— 坪江 怜美さん



坪江怜美さん

女子バスケットボール部3年生の坪江怜美さんが、岡山市の優秀選手として会長表彰を受けました。受賞を知ったときには「何のことか分からず実感がなかった」とのことですが、バスケを通して学んだ「どんな時でもあきらめずに仲間と協力することや信頼することの大切さ」を生かし、「何をやるにもあきらめず一生懸命に取り組みたい」と高校進学後の生活に前向きに話してくれました。

◆日赤病院の飾りつけをしています！ —— 文化活動部



私たちは文化活動部の大藪涼花、大藪桃花、尾島梨来です。この飾り付けは保護者の方々から依頼を受け、私たち3人が中心になって制作し始めました。入院患者のみなさんに季節感を感じていただけるように、月ごとの行事などを折り紙にして楽しんでいただいています。日赤病院に飾ってあるので、お立ち寄りの際にはぜひご覧ください。

岡南小学校

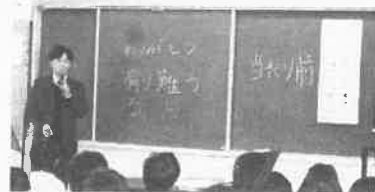
◆岡山県善行賞 —— 岡南小 教職員

岡南小教職員が、川に落ちた人を救助して、岡山県警察から表彰されました。



岡南小・岡輝中OBの坪井遥司さんが講演してくださいました！

岡南小・岡輝中出身の元フィギュアスケート選手の坪井遥司さんが、岡南小に招かれて講演を行いました。これは岡南小学校が「あの人生き方に学ぶ講演会」の講師として坪井さんをお願いしたことで実現しました。4年児童とシニアスクール生を相手に、夢との向き合い方について「夢を強く持つ」「夢を探す」「感謝をする」ことについて話しました。雑誌などの取材は受けたことがある坪井さんですが、講演は初めてということで終始緊張した面持ちでお話していました。



表町三丁目地区で落書き消し事業が行われました！…岡輝中

12月12日(土)に「輝き」～街を輝かせて 気持ちよく 新年を迎えよう～のスローガンのもと、落書き消し事業が行われました。岡輝中学校生徒会による呼びかけで、中学校・高等学校、塗装業者の方、警察、岡山市の方々賛同をいただき、寒い中、約100名の方が集まりました。住みます芸人の江西あきよしさんも激励にかけつける中、ペンキが飛び散るのも気にせずペンキを塗る生徒達、1時間もすればあっという間にきれいになりました。もっとも輝いていたのは、作業をやり終えた生徒達の顔でした。



昨年12月、私の母校である岡南

市立岡輝中学校の主幹で表町周辺の落書き消去作業を行いました。十数年前からこうした社会奉仕活動を行っていますが、後輩達とボランティア活動を行ったことをうれしく思います。

昭和53年岡輝中学校卒業生
(株式会社 岡憲塗装 代表取締役) 高橋 憲志



参加してくださった
●OBの声●

▶ ゾーン30エリアに指定されました ……岡南小

岡南小学校の東側の区域がゾーン30エリアに指定されました。「ゾーン30」とは、生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域(ゾーン)を定めて最高速度30キロメートル毎時の速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策です。これまでも、朝(7:30～9:00)の時間帯が自転車及び歩行者専用道路になっていましたが、その他の時間帯も最高速度30km/h制限の歩行者優先道路になりました。



▶ 耐震化工事が終わりました ……清輝小

昨年の7月から始まった、南館、北館校舎の耐震化工事が、12月末に終わりました。

足場に囲まれ、窓も開けられない状態で学校生活を送ってきたことも懐かしく感じられるようになりました。現在では、外壁もきれいになり、M字の鉄骨が目立つ校舎となりました。



子どもたちにとって、工事中の校舎で学習したことも、いい思い出になっていることと思います。



▶ ビオトープ教室で稲刈り&お餅つき! ……岡南小



11月16日(月)のお昼休み、ビオトープの稲刈りをしました。ビオトープを育む会から、清水さん、遠藤さん、宇野さんに来ていただき、ビオトープ委員会の児童と一緒にいきました。ほとんどの子どもたちは稲刈りが初めてでしたが、カマを使って稲刈りの貴重な体験ができました。

12月5日(土)に行われたビオトープ教室では、ビオトープで育てた稲の脱穀、ビオトープの整備(枯れ葉集め、通路への土運び等)、お餅つきをしました。まず稲の脱穀では、ビオトープを育む会の清水さんからやり方を聞きながら、昔の農機具(足踏み脱穀機、とうみ)を参加者一人一人が体験しました。次にビオトープの整備では、枯れ葉を集めたり、新しい土をバケツにいれて通路に何度も何度も運んだりしました。その後、朝早くから栄養改善協議会の方々準備して下さった蒸した餅米を使って、お楽しみのお餅つきをしました。つくたてのお餅はとってもおいしくて、子どもたちの中には10個以上食べた子がたくさんいました。今年は参加者も多く、お世話になった皆様、本当にありがとうございました。

ハートふれんず

イメージアップ岡輝2016

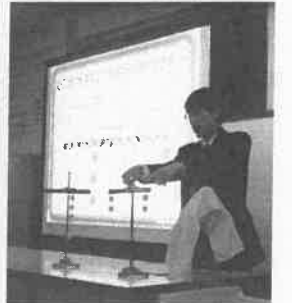
IN 岡南小

平成28年2月6日(土)、岡南小学校を会場に「イメージアップ岡輝2016」が開催されました。例年、岡輝中学校を会場に行われていますが、校舎改築工事の関係で今回は岡南小学校での初開催となりました。

このイベントでは過去に中学生が保護者や地域の人と一緒に「協同学習」の授業を体験し「協同学習」への理解を深める取組を行っていましたが、ここ2年間は「HUG(避難所運営ゲーム)」を行っていましたが、今回は再び原点に戻り、「協同学習」の体験を小学校の授業で行いました。

授業は、山下晴久先生(岡南小学校教諭)の6年理科「てこのはたらき」で、「『さおばかり』を作って、『さおばかり』の仕組みを説明する」が課題で、実際に簡単な「さおばかり」に目盛りをつける活動を行いました。小学生・中学生・保護者が4人のグループになって、意見を交わしながら試行錯誤して作り、作った「さおばかり」の説明書を書きました。授業の終わりには、県立博物館の野田繭子さん(元岡南小教諭)から、「はかり」の由来を話してもらったり、「さおばかり」の実物を見せてもらったりしました。

岡輝学区青少年育成協議会では、今後も岡輝学区の学校園・地域のために、様々な取組と行事を企画していきたいと考えています。ますますのご支援とご協力をお願いします。



2月6日に岡南小学校にてイメージアップ岡輝が開催され、保護者、小中学生、地域の方、先生方合わせて約70名の参加者がありました。

開会冒頭に「今回は岡輝学区の素晴らしい取り組みである協同学習を小中学生と一緒に学びましょう。」と挨拶させていただき、その後岡南小学校山下先生による六年生の理科の授業が始まりました。

山下先生は、最初に「グループのみんなで考えましょう。」など、協同学習で大切なことを話され、その後、てこの授業に入りました。てこの原理の簡単な説明の後、実際に「さおばかり」をグループで作るワークを行いました。グループは大人、中学生、小学生が入り混じり、大人は久々の授業に戸惑いながらも一緒に目盛り付けなどを取り組みました。

聞くだけでなく、実際に自分たちが作ってみることで体験的に、てこの原理を学ぶことができ、「自ら学び協力し合う」協同学習を知ることができました。

その後、岡南小学校で教鞭をとったこともある、岡山県立博物館 野田繭子さんが、てこやはかりの起源と歴史についてお話しいただきました。博物館に所蔵している昔のはかりなどを持って来て下さり、一同興味津々でした。

最後に遠藤地域育成部部長より、「イメージアップ岡輝や学校園の取り組みの成果もあり、岡輝学区は全国から視察も来るなどとても評価されています。これからも頑張っていきましょう。」と挨拶されました。

その後会場を変えて茶話会も行われ、先ほど一緒に学んだグループで楽しく懇談し、終了しました。

岡輝学区では、今後も交流できるような取り組みを行っていければと思います。育成協もそのためにできることは取り組んでいきたいと思っています。

岡南小学校PTA会長 中川 俊彦

平成27年度岡輝中学校区「イメージアップ岡輝」(では3年前まで岡南小の職員だった私にとって、受付に立ってくださっていた、保護者の方々や教室にいた児童生徒達との懐かしい再会、そして地域の行事に参加させていただいたことが大変嬉しく、ありがたい一時でした。

当日は、授業者である山下先生の依頼で、博物館にある「さおばかり」を紹介しました。運搬道具であった「天秤」が、量る道具「はかり」として使用されるようになり、どこへでも持ち運ぶことの出来る便利な道具「さおばかり」として人々に広まりました。昭和時代に入っても魚屋さんや八百屋さんなどで使用されました。

博物館にある文化財は、社会科の学習に役立つだけではなく、理科や国語など幅広い教科での学習につながるということが、私自身よく分かりました。これをきっかけに、岡輝中学校区のみならず、是非博物館にお越しいただければと思います。

岡山県立博物館学芸課(主任)野田 繭子

子育てin岡輝 2015清輝小

11月28日(土)に岡輝中学校区学校運営協議会主催の「子育てin岡輝」が清輝小学校の家庭科室で行われました。内容は、「元気アイテムハッピー朝ごはんをつくろう ~アイデアで、朝食メニューがパワーアップ!!~」と題して、参加者の皆さんで朝ごはんを作りました。メニューは、「簡単すぎる三色丼」「お惣菜パン風きんぴらトースト」「小松菜バナナジュース」の3つです。「簡単すぎる三色丼」は、ご飯の上に炒り卵と鮭フレーク、味付けこんぶをのせたもので、見た目もきれいでした。「お惣菜パン風きんぴらトースト」は、パンの上にきんぴらをのせ、とろけるチーズとマヨネーズ、粉チーズの順にのせてオーブントースターで3分間焼きました。きんぴらとチーズの相性が抜群の一品でした。「小松菜バナナジュース」は、野菜が苦手な人でもおいしく飲める味に仕上がりました。

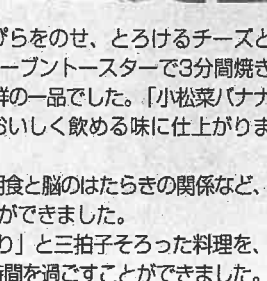
小松菜バナナジュース

【材料】(1人分)

小松菜 半束
バナナ 半本
ヨーグルト 大さじ2
豆乳 50cc
氷 2~3個

【作り方】

材料をミキサーに入れて、かき混ぜるだけです。



公開研究授業岡輝中

9年目の今年も盛大に
~みんなとつながれ協同学習~

11月19日(木)、今年度第2回目の公開研究授業が行われました。2学期は3年生が体育館で授業をすることになっており、今年は3年A組が担任でもある一番ヶ瀬先生の体育でバレーボールの協同学習に挑戦しました。ゲームの中で真剣にボールをつなごうとする姿、仲間とサーブの技術を教え合う姿など、協同学習に取り組んできた成果を存分に発揮してくれました。協同学習を取り入れ「授業



で学校を変える」ことを目指し始めて9年目。生徒たちの柔らかい関係づくりと温かい居場所づくりにこれからも進んでいきます。

『第10回 つながれ岡輝！ 音楽と踊りのフェスティバル!』

平成28年 3月5日 土
10:00~12:00

「つながれ岡輝」も今年で10回目となりました。

開会冒頭、学校運営協議会 高柳会長のご挨拶に続き、毎年会場をご提供くださる岡山南高等学校の上田校長のご挨拶もいただきました。

恒例の岡輝中学校・片山校長率いる、岡輝中学校応援団のエールに始まり、シニアスクールのフラダンス、保育園・幼稚園の発表、婦人会の踊り、清輝小の和太鼓が披露されました。特に小・中・高校吹奏楽部での合同の吹奏楽演奏は圧巻で、演奏している小中の子どもたちは、とても楽しい時間を体験したようです。

最後は、南高校の卒業生も多数参加して、「みんなで歌おう…ふるさと」でフィナーレを迎えました。

閉会にあたり、「今、文科省において全国的にも注目の岡輝学区であります…」との学校運営協議会 遠藤副会長のご挨拶が印象的でした。

地域の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、シニアスクール、婦人会などの団体が一緒にこのような催しを10年も続けているのは全国的にもまれで、これからもさらに盛り上げていきたいと思います。

ご参加、ご協力ありがとうございました。

岡輝地区 青少年育成協議会 広報部長 高田 充巳

- ① 踊り「手話でフラダンス」
.....シニアスクール岡輝校
- ② 歌「カレンダーマーチ」
「アブラハムの七人の子」
.....学区幼稚園・保育園
- ③ 保育発表「はじまるよ」
.....岡山南高校 生活創造科
- ④ 踊り「お米さんありがとう音頭」
「おべんとうばこのうた」
.....清輝学区婦人会
- ⑤ 和太鼓「清輝太鼓」
.....清輝小 3年生
- ⑥ 吹奏楽の競演
...岡南小・岡輝中・岡山南高吹奏楽部



つながれ岡輝に参加します富田保育園

学区の幼稚園や保育園のお友達が一緒になって歌ったり、踊ったりすることを知らせると「どんなお友達がいるかな。」「一緒に合わせることができるかな。」と、ちょっと不安になる子どもも見られましたが、それでも毎日、みんなの前で披露することを楽しみにしながら、歌やアブラハムの子をみんなで練習しています。また、高校生・中学生・小学生・シニアスクールの方も出し物をしてくれるということで、「何をしてくれるんだろう。」「何が見られるんだろう。」と期待が膨らんでいます。

富田保育園 保育士 川本 容子



目指すは、笑顔の花咲く!ハーモニー 『つながれ岡輝』吹奏合同練習岡山南高・岡輝中・岡南小

2月28日(日)、毎年恒例になってきました「つながれ岡輝」の吹奏・合同練習が南高校にて行われました。この日は、1週間後に本番を控えた最終練習日でした。

毎年、「つながれ岡輝」のために、少しでもみんなで良いハーモニーを奏でられるように、岡山南高校、岡輝中学校、岡南小学校、3校の吹奏楽部の総勢100名を超える人数が一斉に集まり、全3回、1回目から南高のお姉さん、お兄さんが工夫をし、コミュニケーションをはかり、朝9時~お昼の13時まで4時間びっしり練習をこなします。1回目にお互い決めたニックネームで呼びあいながらのパート練習は、小学生の子どもたちの照れてる顔が可愛く、とてもほほえましかったです。

「つながれ岡輝」で3校が合同演奏する曲は3曲。1曲目のNHK復興応援ソングの「花は咲く」指揮担当は岡南小の射矢先生。2曲目のアップテンポで会場が華やか「エルクンパンチエロ」は南高の江田先生。3曲目の「つながれ岡輝」のフィナーレを飾る「ふるさと」は岡輝中の寺尾先生。各校の先生の指導を同時に受けることができるのも合同練習の醍醐味です。それぞれの曲が各先生の個性あふれる味付け+3校の温かいハーモニーでとても優しい音楽に仕上がっています。

当日はそんな子どもたちと先生方の空気も感じながら演奏を楽しんでもらえたらと思います。

岡南小PTA文化部 山本



今、行政が注目！ 社会が注目！

高齢者社会の注目すべき取組として、本年度は大森市長訪問、雑誌「Navi」取材、徳島県より視察、東京よりNPO関係フォーラムに講師としての招聘等がありました。

シニアスクールはこんな所だよ！

◆シニアスクールで介護予防——心身ともに健康で美しく生きよう

- 学校の空き教室を借り、学校と同じように時間割にそって9教科の勉強をします。
- 元小中学校等の先生が、テストなし、宿題なし、指名なしで楽しい授業をします。
- 子どもと同じ給食を食べます。
- 4月に始まり、子どもたちと同じように入学式、夏休み、運動会、学習発表会、遠足、修了式などもあります。
- 三世代同居の雰囲気の中で学校生活を送っています。
- 友だちをつくりたい、規則正しい生活をしたい、学びたいなどの思いを充足することで、認知症の予防には最適な場所になっています。



大森市長訪問



授業 (社会)



合同授業



幼児との交流



交流給食



遠足

岡輝学区の自慢 シニアスクール

平成15年9月、新しい学校の在り様を求め全国初のシニアスクールを岡輝中学校で試行開校しました。以来13年目を迎え、本年度も多くの人に支えていただきながら、3校で50名以上のシニアの方々が学びあっています。「生きることとは学ぶことである」という生き方、そして各校においては児童生徒との繋がりを通して、穏やかな学習環境を作っています。3教室ともそれぞれ特色がありますので、お問い合わせの上、ご入学ください。

シニアスクール開校場所

- 岡輝教室** … 岡山市北区岡町 12-17 岡山市立岡輝中学校内
- 清輝教室** … 岡山市北区新道 1 岡山市立清輝小学校内
- 岡南教室** … 岡山市北区岡南町 2-4-5 岡山市立岡南小学校内

授業について

- 岡輝教室** … 週3日【月・水・金】 ●**清輝教室** … 週2日【火・金】
- 岡南教室** … 週1日【金】
- 授業時間** … 原則として1日5時限【午前中4時限(2・3教科) 午後1時限】
- 履修科目** … 国語・社会・数学・理科・音楽・美術・家庭科・保健体育・英語
- 子どもと同じ給食あり(実費)
- 子どもたちとの交流を目的としたもの… 交流会・文化祭・運動会・総合学習
- 研修旅行・遠足の実施
- 教育問題、時事問題や健康についてなどの特別講座あり

講師について

- 各教科4～5名 現在32名の優秀な講師陣

必要経費(給食費・遠足費別)

- 授業料** … 岡輝教室 年間4万円(月4,000円10ヶ月分割払い)
清輝教室 年間3万円(月3,000円10ヶ月分割払い)
岡南教室 年間2万円(月2,000円10ヶ月分割払い)



山陽新聞2013年2月9日号掲載

シニアとは…

シニアスクールにおける“シニア”とは、年長者、人生経験者という意味です。学ぶ気持ちと、活動する意欲を持っている方を募集しています。

お申し込み用紙は
お近くの公民館に
あります。

28年度

生徒募集中!!

いつでも入学できます

特定非営利活動(NPO)法人 子どもたちと共に学ぶ教室シニアスクール

〒700-0867 岡山市北区岡町12-17 [岡山市立岡輝中学校内]
TEL.086-232-0056 (事務局) FAX.086-224-0359 (岡輝中)

